



No.157

2023.6.28

兵庫県立神戸商業高校

図書館

新着図書紹介

読書でリフレッシュを！

検定に期末考査、息つく間もない日々で、お疲れ様です。考査が終わったら、ゆっくりと本を読んではどうでしょうか。

夏季休業中の長期貸出は7月10日(月)から始まり、冊数の制限もありません。返却期限は9月8日(金)です。ぜひ図書室へ。



『くもをさがす』

西 加奈子【著】

カナダで、がんになった。2021年コロナ禍の最中、滞在先のカナダで浸潤性乳管がんを宣告された著者が、乳がん発覚から寛解までの約8ヶ月間を克明に描く。祈りと決意に満ちた初のノンフィクション。

『迷路の外には何がある？—『チーズはどこへ消えた？』その後の物語』

ジョンソン, スペンサー【著】

史上最大のベストセラー『チーズはどこへ消えた？』待望の続編登場。アメリカ・ビジネス界のカリスマが、死を前に書き記した傑作！世界中の老若男女、誰もが“幸せになれる”、最後のメッセージ！

『サピエンス減少—縮減する未来の課題を探る』

原 俊彦【著】

有史以来、増加しつづけてきた人類はいま、人類史的な転換点を迎えている。人口増を前提にした政治と経済、文化、社会システムは再構築を迫られている。世界の人口減少の”最突端”に位置する日本から、サピエンスの未来を考察する。

『差別はたいてい悪意のない人がする』

—見えない排除に気づくための10章』

キム ジェ【著】

あらゆる差別はマジョリティには「見えない」。日常の中にありふれた排除の芽に気づき、真の多様性と平等を考える思索エッセイ。

『宇宙開発の不都合な真実』

寺藺 淳也【著】

技術的にも金銭的にも小さなサンプルしか持ち帰ることができない、宇宙資源がどれくらいあるか不明、研究が追いつかずビジネス優先になるおそれがある…。明るい未来と共に語られがちな宇宙開発には、問題が山積している。そうした知られざる問題を、JAXA元職員である惑星科学者が解説。不都合な真実を明るみに出すとともに、宇宙との新しい向き合い方を提案する。宇宙開発のリアルをきれいごとぬきで語る。



『おばあちゃんは猫でテーブルを拭きながら言った—世界ことわざ紀行』

金井 真紀【著】

好奇心とスケッチブックをたずさえて、ことわざを拾い集める旅に出発！フィンランドでは、おばあちゃんが猫でテーブルを拭く？エチオピアでは、ヒョウのしっぽをつかむ？マレーシアでは、風を食べる？世界36言語の、心が喜ぶことわざ大公開。



『SHO-TIME 大谷翔平 メジャー120年の歴史を変えた男』 フレッチャー, ジェフ【著】

二刀流の「史上最高のメジャーリーガー」は、どのようにして生まれたのか？なぜ、大谷翔平はメジャーでMVPを受賞できたのか？全米が驚嘆した大谷の凄さと活躍の秘密をメジャーサイドから徹底説明！

『ゴリラ裁判の日』 須藤 古都離【著】

ローズはとても賢く、特別なゴリラだ。言葉を理解し人間と「会話」ができる。やがて「声」も手に入れた。これからもっと楽しい生活が始まる。そんな時だった。人間の子供を助けるために、という理由で、夫ゴリラが、突然、射殺される。許せない。そしてローズは、人間に戦いを挑む。力ではなく、知恵と勇気を武器に。法廷で。

『10代の悩みに効くマンガ、あります！』

トミヤマ ユキコ【著】

10代は楽しいことも多い一方で、友達や親との関係にモヤモヤしたり、進路や将来をあれこれ考えたり、見た目やSNSに神経を使ったりと結構大変！ そんな悩み多き10代を、多種多様なマンガを通してお助けします。読めばすべて解決！とまではいかななくても、委縮した心と身体がふわっと軽くなること間違いなしの一冊。

『モノガタリは終わらない』 朝井 リョウ 他【著】

「捨てない」から始まるショートストーリー集。21名のベストセラー作家がモノの歴史をつむぎ、人の記憶をひもとく。物語のプロフェッショナルが織りなす“技”と“筆致”を堪能できる、超豪華アンソロジー！

【その他の新着図書】

センス・オブ・ワンダー	カーソン, レイチェル	文学
昆虫の惑星—虫たちは今日も地球を回す	スヴェルトルップ	動物学

タガヤセ！日本—「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます	白石 優生	農業
あなたとSDGsをつなぐ「世界を正しく見る」習慣	原 貴太	社会学
18歳から100歳までの日本の未来を考える17のキーワード	樋口 裕一	社会学
使えるビジネスモデル見るだけノート	平野 敦士カール	経済
メタバース見るだけノート	岡嶋 裕史	情報
マーケティング見るだけノート	平野 敦士カール	商業
会計学見るだけノート	小宮 一慶	経済
マンガでわかる！小論文	大堀 精一	言語
読むだけ小論文 基礎編	樋口 裕一	言語
読むだけ小論文 法・政治・経済・人文・情報系編	樋口 裕一	言語
薬屋のひとりごと 13	日向 夏	文学
死物語〈上〉〈下〉	西尾 維新	文学
妖怪アパートの幽雅な日常 26	香月 日輪	コミック
SPY×FAMILY 〈11〉	遠藤 達哉	コミック
税金で買った本 〈1〉～〈4〉	ずいの/系山岡	コミック

ぶらり選書 2学年 岡本先生

『ホロコースト ナチスによるユダヤ人大量殺戮の全貌』

芝 健介著

妻と7歳の息子、5歳の娘の変わり果てた姿の遺体が投げ出された。私は妻の遺体に寄り添って撃ってくれと懇願したが、親衛隊員が牛革の鞭で私を打ちつけ、作業に戻るよう強制した。

これは絶滅収容所から奇跡的に脱走に成功したモデルハイ・ボドフレブニクの証言。第二次世界大戦期において、組織的に行われたユダヤ人大量虐殺(ホロコースト)。一民族が600万人も組織的に虐殺された事例は歴史上存在しない。ナチス=ドイツによる、ユダヤ人のドイツ人居住区からの「追放」を目的として始められたユダヤ人弾圧政策。しかし、行きついた先はユダヤ人問題の「最終解決」として、殺害を目的とする施設(絶滅収容所)でのガスによる大量虐殺。この流れをこの本は記述している。

「なぜこのような大量虐殺が起きたのか」、「なぜこのような政策をとるヒトラーを当時の国民が選挙で選んだのか」。大学時代に興味を持ち、心理学的視点から研究していた自分が、ホロコーストのことを理解するために初めて読んだ本。世界史の知識は必要ですが、1世紀前に起きた歴史です。ぜひ読んでみてください。